

義太夫

新年の辞

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

義太夫協会会報
第 3 9 号

昭和62年1月1日
社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座
6-18-2 新橋演舞場B2
TEL (541) 5471

明けましてお芽出度うございます。私は昨年の夏に会長を仰せつかった新参者で、まだ皆様にご厄介ばかりかけ通しと思ひますが、何分にもよろしくお付き合いのほどお願い申し上げます。

お正月という子供の頃の正月の思い出は、近頃のもの全くと全くと考えてみますと不思議な気がします。私は東京の郊外（今では副都心ですが）の屋敷町に育ちましたので、門毎に門松が立ち、室内には鏡餅、紋つきの羽織袴で正月を迎えました。ひっきりなしに来る年賀客、家の中では酒やおせち料理、外では羽根突き、夜には歌留多と大変賑やかなものでした。

正月はまた邦楽と深い縁がありました。私の家は音楽に関係あったので、多くの友人や素人が集まってきて、松の内は歌や踊りで賑

わいました。謡があり、義太夫があり、長唄や俗曲、尺八など、これらは単に私の家だけではなく、一般でも関東大震災前ですとちょうど今の人達がカラオケで演歌を楽しんでるように、邦楽は大変身近にあったと思ひます。

しかし今の世の中、若い人達の中に邦楽はどこへ行ってしまったのでしょうか。まずラジオのスイッチを入れてごらん下さい。ラジオだけでなく、FMでもテレビでも同じことです。我々の伝統的な音楽である邦楽はスピーカーから出てきません。NHKに細々とあるとは言え、余り聴き良い時間帯ではありません。

外国人はこういうことに対して大変不思議がっています。欧米では洋楽の古典音楽は重要な放送のプログラムです。私はアジアの各

国を何度も廻りましたが、こういう国々では他の音楽が出てくる方が稀なくらいです。学校の教育では洋楽の古典による教育のみで、これと外れた邦楽は軽視されるどころか排斥までされる始末です。新聞にしても邦楽の音楽評はまずとり上げられません。これは邦楽は全く浮ばれませんね。そういうことで若い人達にとって、邦楽はまず触れたことも、聴いたこともない音楽になっていくのです。要するに知らないものは無に等しいと言えます。

しかし邦楽は今の若い人に全くそっぽを向かれるものであるのでしょうか。私はそう思いません。近頃若い人の間に少しずつ邦楽を志す者が出てきています。彼等はまず身近の人に邦楽をやっている人がいて、それに触れて魅力を感じたと言っています。

日本には八十以上の音楽を教えている大学があります。近頃その中に日本音楽の講義が多くなっており、私もその一人ですが、ピアノで入学してきた学生にもじっくり邦楽を聴かせると、理解する子も多く、各大学で毎年出される卒業論文の中にも日本音楽を扱ったものが大変多いことが報告されています。

(次頁へ)



私はもう十五年位前のことですが、勤めていた東海大学の音楽学生を音楽鑑賞として全員国立劇場の文楽を見に連れて行ったことがあります。これが彼等にどういふ反応を示すかということに冷ややかにしていましたが、結果は大変上々でした。休憩に一人も帰らず、後でとったレポーターでは、実に七五%が興味あり、関心ありというもので、体質的に受け付けないというのは僅か一〇%でした。その興味は新鮮な感じがするというところにあったようで、舞台では義太夫節も全く自然に受け入れることが出来たと言ひ、日本音楽を学生に教えることに大きい自信を得ました。どうも新劇や洋楽の中にあつた彼等に突然現れたこの古典がかえって彼等に新鮮なものを感じさせたということのようでした。

私は若い人達が、これに触れたことによつて、邦楽に魅力を感じたことを大変嬉しく思ひました。私はそれ以来邦楽の前途に明るさを感じています。

ですが、前途を楽観する前に、我々がしなければならぬことが沢山あると思ひます。一人でも多くの人にこの義太夫節を聴いてもらひたい。そしてその魅力を少しずつでも理解して欲しい。その為には演奏の機会をふやすことや、これは面白いものだ、良いものだという気を起こさせる解説も必要でしょう。年頭にあたって、私の考えの一端を述べました。希望を持って元日のお屠蘇を祝いませう。



初春の御挨拶

義太夫節保存会会長 豊澤仙廣

明けましておめでとうございます。

義太夫協会会員の御一同様、良き年をお迎えあそばされたこととお喜び申し上げます。

七十年の舞台生活を引退してから早三年になります。私、淋しいとは思ひ乍ら、毎月の本牧亭公演に新会長・田辺先生をお迎えして楽しく勉強する若人の上達ぶりを聞くのが何よりのうれしさで、六十二年を無事迎えさせて頂き、有難く御礼

申し上げます。

ザッと大入の本牧亭、協会役員の努力にも頭が下がります。暮のチャリティーにも沢山の方が御協力下さつて、本当に有難いことと改めて御礼申し上げます。

お客様あつての義太夫協会です。会員の皆様、日本最高の芸術義太夫節を、今後ともよろしく御支援の程、伏してお願い申し上げます。

昭和六十二年元旦

弁慶の登場する義太夫節

義太夫協会監事 景山正隆

今年度の義太夫節保存会主催・義太夫協会後援の大会（演奏会）は例年より少し遅く、年度末ぎりぎりの本年三月二十一日に本牧亭で催されることになった。今度のテーマは「弁慶」で、武蔵坊弁慶を主人公とする『五条橋』『弁慶上使』『鳴響安宅新関』（勸進帳）が演奏される。

「弁慶」といえば、今年NHKテレビの

連続時代劇で大活躍をしているので、吉右衛門の演ずる弁慶のイメージが多くの人々の脳裏に焼き付けられたことと思うが、そうだけでなく日本人ならば国民的英雄として弁慶の名前を知らない人はいないといつてもよいであらう。ところが、歴史上の弁慶は、わずかに『吾妻鏡』の中に西国落ちの義経に従う一行の末尾にその名が記されているだけの一僧

兵でしかないということはあまり知られてはいないと思う。『源平盛衰記』『平家物語』でさえ、私達の脳裏に描くような弁慶像は必ずしも明確には浮かび上がって来ないのである。

あの黒づくめの装束に七つ道具を携えた荒法師弁慶の、ドラマの主人公にふさわしい人物像が鮮明になってくるのは、悲劇的英雄義経の伝説的な流離譚を中心に綴られた『義経記』からである。『義経記』の主人公は義経であり、弁慶は、清水寺(『義経記』は五条橋ではない)で牛若丸に屈し主従の契りを結んで以来の再来で、飽く迄も脇役的な位置にある。しかし、弁慶を欠いては義経伝説は成り立たないといってもよいほど作中での弁慶の活躍は目覚しく、義経と好対照をなす伝説的英雄像として膨らんでゆく。かくて『義経記』とは別に、『弁慶物語』『橋弁慶』のような中世小説やお伽草子が生まれ、さらに能・幸若舞など弁慶をシテとする中世芸能の中で、剛毅と深慮を兼ね備え、遊芸もよくし、情誼にも厚い、男性の理想像ともいべき英雄像が創られていったのである。

人形浄瑠璃、歌舞伎、邦楽など近世芸能における弁慶は、そうした中世芸能の弁慶を原型として様々に脚色された。浄瑠璃だけでも古浄瑠璃も含めると、弁慶の登場する作品は相当な数に上る。しかし、義太夫節に限って見ると、伝承曲で弁慶を主人公とする曲は今度の公演で演奏される三曲に止まり、案外に少ない。(但し新曲として、昭和三十四年に協会の竹本弥乃太夫師が、長唄の『隈取安宅

松』を義太夫節に移し、弥乃太夫師・綾太夫師らが演奏したことがある。)

『五条橋』は、本来は享保十六年(一七三二)竹本座初演『鬼一法眼三略巻』の五段目に当たりますが、景事・節事として独立した曲とするために詞章はかなり削除・改訂が加えられている。この曲の面白さは優美な少年牛若丸に大の男の弁慶が翻弄されてついに屈服するという、巨人が小人に敗北する型の童話風の伝説を題材としているところにあり、聴かせどころは、五条橋上で激しくわたり合う両者の立回りの場面にあるが、一中節や河東節の『橋弁慶』に比べると、義太夫節の方が遙かに迫力があって面白い。豪壮な立回りの後だけに、弁慶が屈して生涯義経の股肱の家来となる契機が段切りに極めて効果的に描き出され、この曲はそうした盛り上りを十分に聴かせてくれる。

『弁慶上使』は、元文二年(一七三七)竹本座初演『御所桜堀川夜討』の三段目に当たるが、現行曲の詞章は、丸本の原文に比べると改訂の跡がかなり著しく、原文よりも引き締まった詞章となっている。「女嫌い」で「外には泣かぬ」弁慶が、たった一度契りを交わしたおわさとの間に生まれた娘の信夫を義経の室卿の君の身代わりとして首を討った後、さすがに堪えかねて大泣きに泣くというハ物語Vと、おわさのクドキを眼目とするこの曲には、愛すべき弁慶の人間性がくっきりと浮き彫りにされている。

『鳴響安宅新関』は、『壺坂霊験記』『良

弁杉』などと同じく二世豊澤團平の作曲で、歌舞伎十八番『勸進帳』の影響を受けて明治二十八年二月に彦六系の大坂稲荷座で初演されたもので、近代になってからの曲である。作曲上長唄『勸進帳』の影響が多少は認められるが、義太夫節ならではの独自の節付けで歌舞伎十八番とは一味違った迫力があり、情味の深さがある。

『安宅松』が聴けないのは残念であるが、弁慶を描く古くから伝承された現行曲が、今度のように三曲共並べて演奏される機会はないに期待したい。その意味で今度の公演は大いに期待したい。(東洋大学教授)

元氣印のシルバー・エイジ

義太夫八十八歳の会 大盛況

去る十月二十一日、本牧亭で、素義界の最高齢者・広瀬清笑氏の引退義太夫会が開かれました。義太夫協会常任相談役・河野國声氏のお世話で実現したもの。出演者十名の年齢合計(のべ)が何と八十八歳、平均八二・七歳というオールド・パワールの大集合とあって当日は新聞・テレビ・ラジオと取材がかけつけ、大変な熱気。義太夫が健康長寿のもとであることを見事に証明した会でした。出演は鳥春栄・中島古平・広瀬清笑・松尾武市・河野國声各氏、三味線は野澤吉平・竹本土佐廣・鶴澤重輝・豊澤仙廣各師。



協会の動き

昭和61年8月より
昭和62年1月まで

- 8月16日 資料・記録部会 於事務局
- 8月20日 大会企画委員会 於文明堂築地店
- 8月20・21日 芸団協助成女流若手勉強会 於本牧亭
- 8月24日 テープ鑑賞会(資料・記録部主催) 於銀座三丁目東町会事務所
- 9月3日 公演部会 於芸団協会議室
- 9月10・15日 女流後継者育成事業 葛の葉研修(野澤勝平師指導) 於国立劇場稽古場
- 9月13・14日 女流後継者育成事業 寺入研修(豊竹呂大夫師指導) 於国立劇場稽古場
- 9月20日 教師のための義太夫講習会(文化庁助成)講演―古川英史名誉会長演奏―土佐廣・重輝他 於本牧亭
- 9月21日 義太夫協会公演会 竹本華昇(春華門下)初舞台 於本牧亭
- 9月22日 昭和六十一年芸団協芸能功労者に竹本綾之助常務理事が選出さる。中村歌右衛門芸団協会長より表彰状が贈られた。 於芸団協会議室
- 9月24日 常務理事会 於文明堂築地店
- 9月30日 経理部会 於事務局
- 10月1日 公演部会 於芸団協会議室
- 10月2日 理事変更登記完了届、監事変更届提出
- 10月4日 千葉おやこ劇場「八王子車人形の世界」 於千葉県教育会館
- 10月10日 祖先祭 新役員(田辺秀雄会長、景山正隆監事、池田弘一相談役、館野善二相談役)参列。一挙に五名(駒喜美・津賀寿・綾貴世・華昇・土佐子)の新正会員を披露した。 於両国回向院
- 10月18日 企画委員会 於両国回向院
- 10月20・21日 昭和61年度事業報告・決算報告 昭和61年度事業計画・予算提出 義太夫協会公演会 竹本土佐子(土佐廣門下)披露目 於本牧亭
- 10月21日 義太夫八一八歳の会 於本牧亭
- 11月5日 公演部会 於芸団協会議室
- 11月14日 常務理事会 於都民銀行会議室
- 11月20日 第8期竹本研修生・第3期鳴物研修生発表会 於国立劇場演芸場
- 20日 義太夫協会公演会 竹本綾之助芸団協芸能功労賞受賞を祝う会 於本牧亭
- 11月21日 教師のための義太夫講習会(文化庁助成)講演―田辺秀雄会長 八王子車人形参加(6頁参照) 於本牧亭
- 11月22日 学校巡演 於政法大学
- 11月28日 民間芸術等振興費補助金交付決定 公演部会 於芸団協会議室
- 12月3日 学校巡演 於高崎音楽短期大学
- 12月4日 邦楽連合会 於芸団協会議室
- 12月10日 公益法人会計基準講習会 於東京都職員研修所
- 12月11日 関東子ども劇場おやこ劇場協議会 三多摩地区高学年合同例会「八王子車人形の世界」於日野市民会館
- 12月13日 同右 於福生市民会館
- 12月14日 '87義太夫協会名簿発行 (高野俊雄相談役寄贈による) 第16回心身障害児のための特別公演(収支決算は次号にて御報告いたします。) 於本牧亭
- 12月20日 昭和61年お名残公演 前日と二日 於本牧亭
- 12月21日 昭和大61年お名残公演 前日と二日 於本牧亭
- 昭和62年1月1日 義太夫協会会報39号発行 於本牧亭

第二回豊澤仙廣賞に竹本綾一

昨年の本牧公演最多出演者であり、八王子車人形との共演も多く、特に昨年は海外公演にも参加するなどめざましい活躍をした竹本綾一(綾之助門下)に第二回豊澤仙廣賞が贈られることになりました。師・綾之助の芸団協芸能功労賞に続いての朗報です。(授賞式は四月の本牧公演席上にて行う予定です。)

芸団協新人奨励賞に鶴澤宏太郎

竹本(歌舞伎義太夫)の若手三味線、鶴澤宏太郎が61年度芸団協新人奨励賞を受けることになりました。竹本講習第六期生でまだ26歳、将来を嘱望されています。3月20日、本牧亭公演席上にて表彰式を行う予定。

人形浄るり一楽会 解散

昭和56年11月26日発足以来、ユニークな活動を続けてきた「人形浄るり一楽会」が、満五年目のこの11月26日に解散しました。素浄るりの会、文楽技芸員を囲む会、衣裳・かしら等の話、文楽おしゃべりサロン等々の開催、果ては新作まで世に送り出した一楽会のメンバー、九名の女性が、文集「人形浄るり一楽会の五年間」でこの五年をふり返っています。義太夫協会の催しを「文楽メイト」に掲載して頂いたり、私共も大変お世話になりました。これからも「文楽メイト」と年報「文楽」の発行は続けられるそうです。益々の御発展をお祈りします。

追悼 「よしや」さん

「よしや」中村盛雄氏(選定保存技術保持者)が、八月三十一日、肝臓がんで亡くなられた。享年七十二歳。前号でお知らせした通り、叙勲(勲五等瑞宝章)の伝達式のため上京、その帰りに病に倒れ、療養中であつたが、帰らぬ人となられた。義太夫三味線皮張りの第一人者だっただけに、文楽・女流・竹本連中の三味線の人達の打撃は大きかった。唯一の弟子である寺石透君が、少し目鼻がつきかけたところでの急逝でしたが、「よしや」の名前と道具一切を受けつぎ、何とか一人立ちしようと努力していますので、長い目、暖かい目でみて、一人前になれたら、地下の中村さんも喜ぶられるものと思います。(綾太夫)

〒616 京都市右京区花園一条田町一〇一
電話〇七五(四六三)〇七一〇

訃報

■竹本団州師(正会員) 61年8月8日逝去
八王子在住で、本牧亭公演には残念ながら一度も出演されませんでした。

■入谷 勇氏(賛助会員) 61年8月16日逝去
社団法人設立以前からの古いお客様でした。
■豊澤広市師(正会員) 61年8月18日逝去
三味線の最高齢者。百歳までは元気で、と言っておられたのに、残念なことでした。

■酒井由雄氏(床世話) 61年8月18日逝去
戦後復員してより、荷上・床世話に、誠実

に尽くしてくれた姿が目には浮かびます。ヨッちゃん、ヨッちゃんと親しまれました。床世話では、小米さん、千登世さん、新吉さん、そしてこのたびの由雄さんを失い、大変寂しいこととなりました。(綾太夫)

■中村盛雄氏(太棹の皮張りの選定保存技術保持者) 61年8月31日逝去
上記の記事を御覧下さい。

■竹本喜久太夫師(正会員・元常務理事・義太夫節保存会会員) 61年10月27日逝去
戦後、三味線から太夫に転向し、前進座太夫、舞踊の地方として活躍。近年は義太夫教室講師など、若い人の指導に専念しておられました。昭和三十二年、協会改組の折から理事に選出され、社団法人設立には大いに貢献、以来協会の運営に力を尽くされました。昭和五十五年、重要無形文化財総合指定保持者に認定。近年来、病弱をかこっておられました。突然亡くなられたのは誠に残念の極みで、もっともっと活躍して頂きたかったというのが、皆の偽らざる気持であります。享年七十一歳。(綾太夫)

■竹村謙介氏(賛助会員) 61年10月27日逝去
祖先祭などで、コップ片手に若手にハッパをかけておられた、テニス焼けの笑顔が印象的でした。小唄をよくされ、義太夫も小唄ほど愛好者が増えたらと、心を砕いて下さいました。

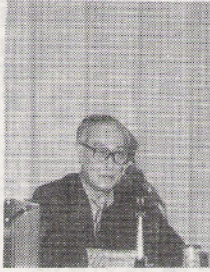
御冥福を心からお祈りいたします。

教師のための義太夫講習会

— アンケートより —

昨年11月21日に行った「教師のための義太夫講習会」もおかげさまで大盛況で、下足札が足りなくなりました。「講習会は混むから……」と会員の方には敬遠されがちになってしまい、複雑な心境です。当日のアンケートからいくつか御紹介いたします。
 (一)内は教科、数字は「義太夫節を聴くのは何回目か」を、多は数回以上を表わします。
 当日の内容は、講演「世界の語りもの音楽における義太夫節の地位」田辺秀雄会長、演奏「重の井子別れ」朝重・重輝、西川古柳氏の「車人形の遣い方」解説に続いて実演「壺坂観音霊験記」西川古柳一座

世界の語りもの音楽における義太夫節の地位 (講演 田辺会長)



1986. 11. 21 (撮影 佐藤公夫氏)

＜教師内訳＞					
計	大学	養護学校	小学校	中学校	高等学校
55		1		11	43
10				4	6
32	1		4	12	15
97	1	1	4	27	64
					国語
					音楽
					その他
					計

- 解説について
- 理路整然としていて初心者でも大変わかり易く義太夫節の概要が理解できた。特に本で読めない話なので参考になった。(国語・初)
 - (世界の語りものはテープだけでなく) ビデオも見せてほしかった。(国語・多)
 - 国際的視野での義太夫考察、ユニークでした。更に専門的なお話を伺いたい。(国語・初)
 - 前回までのように資料があった方がよかったですと思います。ノートする手間を面倒がるというつもりはありません。古典の文言は耳だけで聞いたのでは意味がわからなかつたり、聞きのがして題名や人名などどうもメモできなかった箇所がいくつもありません。浅学を棚に上げた意見かもしれませんが、是非お願いします。(音楽・多)
- 演奏について
- 切々とした語りの迫真力に感動させられた。文楽は好きで以前はよく観劇したが、どうしても人形の方に目が行ってしまい、語りを聴くだけでイメージを捉げるということをして来なかった。(国語・単独では初)
 - 三味線とてもよかったです。私も語れたらと思いました。(理科・初)
 - 大変な迫力でびっくりしました。現代人でもわかるものだと感じました。(社会・3)
 - 人間が一つの楽器、それも何種類もの音色を出す楽器のようで感動しました。劇的要素と音楽性との素晴らしい融合です。(国語・初)
 - 歌舞伎で聞いて興味を持ちました。女の方でもとても迫力がありました。(英語・?)

人形について・その他

- やはりナマのものは違うと思った。本牧草が畳なのも良い。(小学校全科・初)
- 車人形は素晴らしいのですが、大勢の生徒に鑑賞させるには小さすぎませんか。(？・2)
- 語り・三味線・人形の方々の話も聞きたい。(社会・初)
- 古柳師のご説明が大変わかり易く感じ入りました。大変結構でした。(国語・3)
- 近松ものが教科書に出ていますが、教える上で参考になるべき点が多い。(国語・多)
- とても楽しい一夕でした。(英語・初)
- 初めての事ばかり、素晴らしい事に今夜は大変満足です。これからも良き文化を伝えるために、また私達を楽しませて下さるようお願いいたします。(理科・初)

義太夫教室OB会

出演希望者募集中

- * 昭和六十二年二月十一日(水・祝日)
- * 一時開演(予定) * 上野広小路本牧亭
- * 費用 一舞台十分まで五千円 二十分まで一万円 三十分まで一万五千円 (但、最高三十分を限度とする)
- * 別に床世話料として一人千円
- * 師匠に対する謝礼は出演者各自による
- 出演希望の方は、大至急、演目・所用時間・出演者名(期)・みどり・掛合の別等を事務局まで。

コールドレイクさん助教授に

ひところは、義太夫の会でその姿の見えない日はなかったコールドレイクさん。女流義太夫に関する博士論文“Women Performers of GIDAYU in contemporary Tokyo.”がパスして見事、オーストラリアのアデレード大学、民族音楽学の助教授になりました。平均よりずっと若い美しい助教授の誕生です。右の論文は厚さ四センチもある立派なもので、一冊協会に寄贈されました。

拝啓 今度は大変お世話になり本当にありがとうございます。お忙しいところに御無理を申し上げまして、誠に恐縮しております。おかげさまで私の論文の方にも大変役に立ちました。又お世話になることもあると思えます。その折にはよろしくお願い致します。

ミシガン大学音楽博士 敬具
キミ・コールドレイク

稽古場を捜しています

安心して大きな音の出せる、交通の便の良い格安な稽古場(マンションの一室など)はないものでしょうか。仙廣師のおかげで「新小松」を自由に使わせて頂いた時には全く悩まないですんだ稽古場探しに苦労しております。会員各位の情報を寄せ頂ければ幸いです。

新春懇親会御案内

* 1月30日(金) 6時より
* 蓬萊閣 三階和室(八三一)一七六三
上野2-14-29(京成上野駅そば)
* 会費 五〇〇〇円

何か一品、景品をお持ち下さい。
何が当るかお楽しみ!

北京料理の卓を囲んで楽しい御歓談を！
お申込みは1月26日(月)までに事務局へ
会員以外の方もどうぞ。



本牧亭公演

入場料改訂のお願い

毎月の本牧亭公演をおひきさて下さいまして誠に有難うございます。邦楽界でも毎月二日の定期公演は類がなく、私共も誇りをもって、また貴重な修業の場として本牧公演を大切にいたしております。

お聞き及びの向もおありかと存じますが、助成金の削減、事務所等諸経費の高騰は、私共には大きな打撃でした。

つきましては、本牧公演の入場料を二〇〇円に改訂させて頂きたくお願い申し上げます。次第でございます。内容の充実を図り、御満足ゆく番組作り而努力いたしますので、どうか窮状御推察賜り、御了承の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

'87都民芸術フェスティバル
第17回邦楽演奏会

* 昭和62年3月8日(日)
* 第一生命ホール
* 東京都助成による特別料金一、五〇〇円

邦楽連合会(義太夫・清元・古曲・新内・常磐津・長唄・三曲)主催の年一回の邦楽演奏会。義太夫は、昼の部に竹本土佐廣・鶴澤寛八による「伽羅先代萩 政岡忠義の段」夜の部に竹本綾之助・竹本綾一・鶴澤駒登久による「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を予定しております。(後日詳報)

ハ寄贈

- 早稲田大学演劇博物館
- 二世豊澤新左衛門 朱入り浄瑠璃本目録
- 豊澤 仙廣氏 高座用座布団 二枚
- 佐々木明郎氏 ビール(祖先祭)
- グレードデン社 油屋ビデオ(土佐廣・重輝)
- キミ・コールドレイク氏
- 論文「現代東京の女流義太夫演奏家」
- 木下 淑恵氏 三味線一式(長靴入)
- 小高 裕子氏 一楽会の五年間
- 高野 俊雄氏 仮名手本忠臣蔵プログラム
- 切符等印刷 一式
- '87義太夫協会会員名簿印刷 七百部

弁慶 — 五条橋・弁慶上使・勸進帳 —

昼の部

(12時半開演)

牛若 竹本 越孝
 弁慶 竹本 越若
 ツレ 竹本 越恵
 竹本 綾貴世
 三味線 野澤 錦輝
 野澤 輝雅
 鶴澤 駒治

御所桜堀川夜討
 弁慶上使の段(前)

竹本 越道
 鶴澤 駒登久

御所桜堀川夜討
 弁慶上使の段(後)

竹本 土佐廣
 鶴澤 重輝

鳴響安宅新関
 勸進帳の段

弁慶 竹本 素八
 富樫 竹本 朝重
 義経 竹本 駒之助
 四天王 竹本 綾一
 竹本 土佐恵
 竹本 越若
 竹本 越孝
 番 卒 竹本 素丸
 梶下 竹本 土佐子
 三味線 鶴澤 寛八
 野澤 鶴澤 錦鈴
 鶴澤 津賀寿
 野澤 輝雅

夜の部

(5時開演)

牛若 竹本 素丸
 弁慶 豊竹 公二郎
 ツレ 竹本 駒喜美
 竹本 華昇
 三味線 豊澤 幸治
 豊澤 多美子
 鶴澤 津賀寿

御所桜堀川夜討
 弁慶上使の段

おわさ 竹本 綾之助
 弁慶 竹本 駒龍
 卿の君 竹本 綾一
 信夫 竹本 土佐菊
 侍従 竹本 土佐恵
 花の井 竹本 土佐子

鳴響安宅新関
 勸進帳の段

三味線(前) 鶴澤 駒登久
 三味線(後) 鶴澤 重輝

鳴響安宅新関
 勸進帳の段

(昼の部に同じ)

* 昭和62年3月21日(土・春分の日)
 * 昼の部 12時30分 * 夜の部 5時
 * 本牧亭 * 入場料 各二、五〇〇円

主催 義太夫節保存会
 後援 社団法人義太夫協会

△お詫び▽

賛助会員の吉田哲夫氏より「酷暑を払拭する異色公演2題！小唄忠臣蔵(国立)と女流若手勉強会(本牧亭)」という原稿を九月に頂戴いたしました。仮名手本忠臣蔵を小唄でつづる粹な催しの紹介と、義太夫協会の忠臣蔵にも新企画をとの御提言、また「まゆの会」の越若・越孝・素丸の若手勉強会での精進に對し激励の一文をお寄せ下さいましたが、今や酷寒の季節となつてしまい、また紙面の都合で掲載できなくなつてしまいましたことをお詫び申し上げます。 編集部

△お断り▽

会員名簿が発行されましたので、新入会員御紹介、住所等変更は省略させて頂きました。明けておめでとうございませう。お年賀状がわりに39号をお届けすることができてホッといたします。本年もどうぞよろしくお願い致します。

編集後記

三年ぶりの会員名簿発行(高野印刷の皆様には、暮の忙しい最中に大変お世話になりました)。「仮名手本忠臣蔵」の解説書発行とが殆んど同時進行になったこと等もあって、39号は近來には珍しく8頁のみ。小じんまりとオリジナルスタイルに戻りました。 コールドレイクさんの論文の中に「義太夫協会会報という定期刊行物は、戦後の女流義太夫の活動と発展を調べる上での非常に貴重なものとなり、定期という点が一寸面映ゆいのですが、編集部は狂喜しております。